

3. 研究会テーマ：イメージング技術の新展開

【企画趣旨】

数多くのフォトニクス技術の中で、イメージングほど直感的、かつ、多様な情報を人に伝えることができる技術は見当たりません。

さまざまな物理現象を利用して、物体からの信号を捉えたり、2次元や3次元の情報として再構成したりするフォトニクス技術は、科学技術や社会生活の中で重要な役割を果たしています。

最近、光源やデバイス、コンピュータの発展により、これまでは実現できなかったような新しいイメージングが可能になっています。

本研究会では、この新しいイメージング技術に取り組む先生方をお招きし、同分野の最先端技術をご紹介いただくとともに、フォトニクス技術の方向性や取り組むべき課題を明らかにする機会を提供します。

4. プログラム：

研究会テーマ	照明	
13:30～13:35	(開会) 事務局連絡、委員長ご挨拶	
13:35～14:35 (質疑応答を含む)	題 目	「バイオフィトニクスのための超解像光イメージング」
	講 師	静岡大学 電子工学研究所 生体計測研究部門 教授 川田 善正 氏
14:35～15:45	－ 10分休憩－	
14:45～15:45 (質疑応答を含む)	題 目	「疲労のない立体表示の実現をめざして ～超多眼とホログラフィー～」
	講 師	東京農工大学 工学研究院 先端電気電子部門 教授 高木 康博 氏
15:45～15:55	－ 10分休憩－	
15:55～16:55 (質疑応答を含む)	題 目	「デジタルホログラフィーが拓くセンシング ・可視化技術」
	講 師	神戸大学大学院 システム情報学研究科 システム科学専攻 教授 的場 修 氏
16:55～17:00	(閉会) 委員長ご挨拶、事務局連絡	
	移 動	
17:20～19:00	交流会 (多目的室) ※ご招待	